

第 52 回水工学に関する夏季研修会

- ・開催日：2016 年 8 月 22 日（月），23 日（火）
- ・開催場所：秋田大学 一般教育 2 号館（秋田市手形学園町 1-1）

河川・水文コース

テーマ：地球環境変化時代の水防災

内 容：水災害の防止・軽減（復興を含む）を目指して継続的に様々な取り組みが行われています。国際的な防災戦略である「2005 年兵庫行動枠組」後の 15 年間に対象とした「2015 年仙台防災枠組（防災・減災は政策の優先課題，投資，強く良い社会の構築，など）」が策定されて 1 年が経過します。2015 年の関東・東北豪雨災害後 1 年を節目に主な取り組みの方向性を見極め，水災害の防止・軽減の行方を，仙台防災枠組や関東・東北豪雨災害を踏まえながら解説します。

1 日目はソフトとハードを織り交ぜた話題で，仙台防災枠組の策定に反映された科学・技術分野の取り組みとその後の展開，関東・東北豪雨災害を踏まえた社会資本整備審議会の答申に基づく水防災意識社会再構築に向けた取り組み，関東・東北豪雨災害における堤防の被災とそのメカニズム，地球温暖化時代を踏まえた積雪と融雪洪水のモデルについて講義します。

2 日目はハード的な話題が中心で，地球温暖化時代を踏まえた短，中，長期の流出，2014 年広島豪雨災害などを踏まえた土砂災害を発生させる現象の実態，河床波による河床粗度や河道内樹林による粗度を踏まえた洪水と河道管理，関東・東北豪雨災害などを踏まえた防護施設と洪水氾濫について講義します。

この 2 日間の本コース研修会では話題内容は限られていますが，水災害の防止・軽減に関するこれまでの歴史，現状と今後の行方の本流が理解できる研修内容となっています。本コース研修会が河川・水文分野に携わるまたは興味がある技術者，研究者，将来を担う学生の皆様にとって有益な情報を得る，そして一層発展する機会となれば幸いです。

8 月 22 日（月）

1. 小池俊雄（東京大学）：「仙台防災枠組 2015-2030」の策定に向けた科学・技術分野の取り組みとその後の展開
2. 畠山慎一（国交省東北地整）：水防災意識社会再構築に向けた取り組みについて
3. 二瓶泰雄（東京理大）：2015 年関東・東北豪雨災害における鬼怒川の堤防被災状況の把握とそのメカニズムの検討

4. 風間 聡（東北大学）：積雪と融雪洪水のモデル化

8月23日（火）

5. 真野 明（東北大学）：流出予測，数時間先から数十年先まで

6. 竹林洋史（京都大学）：土砂災害を発生させる現象の実態と解析

7. 泉 典洋（北海道大学）：洪水と河道管理

8. 小森大輔（東北大学）：防護施設と氾濫

（敬称略）

海岸・港湾コース

テーマ：東日本大震災後の津波防災

内 容：2011年の東日本大震災後，津波の防災・減災（復興を含む）を目指して様々な取り組みが行われています。国際的な防災戦略である「2005年兵庫行動枠組」後の15年間を対象とした「2015年仙台防災枠組（防災・減災は政策の優先課題，投資，強く良い社会の構築，など）」が策定されて1年が経過します。大震災後5年を節目に主な取り組みの方向性を見極め，津波の防災・減災の行方を，東日本大震災や仙台防災枠組を踏まえながら解説します。

1日目はソフト的な話題が中心で，仙台防災枠組を踏まえた国際的な津波防災のあり方，東日本大震災を踏まえた法律に基づく津波防災地域づくり，インド洋大津波以降急速・大幅に進歩した広域災害の把握と評価，東日本大震災を踏まえた災害に強い漁業地域づくりについて講義します。

2日目はハード的な話題が中心で，東日本大震災や物理・数値実験などを踏まえた防護施設とまちづくり，古くて新しい課題である建築物に作用する津波荷重，東日本大震災を踏まえた津波の河川遡上と防災，そして本コース研修会の総括と位置付けした高潮・津波対策の歩みについて講義します。

この2日間の本コース研修会では話題内容は限られていますが，津波の防災・減災に関するこれまでの歴史，現状と今後の行方の本流が理解できる研修内容となっています。本コース研修会が海岸・港湾分野に携わるまたは興味がある技術者，研究者，将来を担う学生の皆様にとって有益な情報を得る，そして一層発展する機会となれば幸いです。

8月22日（月）

1. 今村文彦（東北大学）：国際的な津波防災のあり方 ―2015年仙台防災枠組を踏まえて―
2. 諏訪義雄（国 総 研）：津波防災地域づくりと津波浸水想定の設定
3. 越村俊一（東北大学）：広域災害の把握と評価
4. 影山智将（漁村総研）：津波を踏まえた災害に強い漁業地域づくりについて

8月23日（火）

5. 首藤伸夫（東北大学）：高潮・津波対策の歩み
6. 有川太郎（中央大学）：防護施設とまちづくり
7. 田中 仁（東北大学）：津波の河川遡上と防災
8. 松富英夫（秋田大学）：建築物に作用する津波荷重

（敬称略）